

活動内容

〈題〉 子どもの健全育成のためのよりよい関わり方について

学級名 盛岡市立仙北小学校PTA教養部

学級担当者 横沢 志乃

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 盛岡市立仙北小学校PTA会員
- ・ 学級の運営組織 盛岡市立仙北小学校PTA教養部
- ・ 学習のねらい、重点 子どもの健全育成のために自主的な活動を行い、教養を深める。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
1	6月30日	後悔しない子育てのために	元盛岡市立中野小学校校長 現学校関係者委員会副委員長 野口 晃男 氏	24名
		内 容 日常の生活指導や家庭での金銭教育などの様々な事例を通して、親・祖父母として子どもとの望ましい関わり方や声掛けについて学ぶ。	感 想 等 講師である野口先生の人間愛に溢れた考え方と豊富なご経験に基づいた教育理念を楽しく拝聴することができた。特に、どんなに立派な理念であっても、伝え方次第で子どもは良くも悪くも変わってしまうという話から、今一度自分の言い方を見直して子供と関わっていきたいと感じた。	
2	10月11日	心が伝わる 子どもが聞いてくれる話し方 子どもが話してくれる聴き方	(株) aiびじねす代表取締役 中村 夢美子 氏	27名
		内 容 家族との関わりをより温かいものにするために行うとよい声掛けの仕方や話の聞き方について学び、中学生の特徴を知ることによって親としての心構えをもつ。	感 想 等 分かってはいても疲れや時間のなさを理由に、つい子どもに悲しい思いをさせたり傷つけたりしてしまう言い方をしていたことに気付かされた。できるだけ笑顔で、顔を見合わせて、肯定的な話し方で会話することを今日からしていきたい。中学生頃には反抗期に悩むことになるかもとの不安もあるが、その時の心の準備もすることができた。	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・コロナ禍にあって工夫したこと

- ・ コロナ禍では校内の人材を講師として講演会を実施したが、今年度は保護者の希望を基に、子どもとのよりよい関わり方についての講演会を2回実施したこと。

(2) 今後の課題

- ・ よい話を聞ける機会となる講演会への参加人数が少ないので、講演会に参加しやすい時期について検討していくこと。

(3) その他 今後の「学びのつどい」の在り方に関すること等

- ・ 学習選択講座の種類や数が豊富なことが有難かった。
- ・ 講師への謝金の手続き等、時期を見てご連絡いただき、運営を支えていただけたことが大変有難かった。